



UpsideJapan

THE TECH INSIDER

www.upsidejapan.com

! ホーム ! UPSIDEについて ! UpsideToday米国版 !

! コラム ! ビジネスモデル ! 注目の企業 ! キーパーソン ! 業界動向 ! アジア最新ニュース ! ITな暮らし !



## 注目記事

- ・MSNが音楽配信サービスに参入!
- ・ネットのコンテンツで金  
は取れるのか?
- ・マイクロソフトがトラン  
スメタと提携!
- ・iモードがアメリカにやっ  
てくる!
- ・ハイテク株よ、底の底  
まで落ちてくれ
- ・略語の山に埋もれた  
B2Bマーケット



デジタル用語辞典:

検索



Upside Japan / コラム



# カッコワリーってモンダガ 中村伊知哉@LANTIC【第22回】

2000年10月4日

## 海パンなんて、カッコワリー?

夏の汗は苦いぜ。その苦みが去る瞬間、男はまた一つ、孤独という勲章を手にする。なんてな。不明だな。意味が。そんなことよりそろそろ押し入れに海パン片づけないと。もうとっくに秋だし。とつぶやいたとたん、長男9歳が、「海パンってなに?」と聞く。海水パンツだよ海の水のパンツ。「ぐけけはぎほげ」と激しく笑い、「かいついぱんつだってカッコワリー、海パン野郎だー」とぬかす。

じゃあ何てんだ。「水着だろ、ミ・ズ・ギ」。なんだ一般的だな。「泳ぐのはだいたいプールだろ海じゃないだろ」。まあそりゃそうかもな、昔はよく海で泳いだもんだが、いまは戯れたり潜ったり滑ったりする相手だもんな。もっと昔はみな川で泳いでいたのか。川はふんどし。男らしい。

しかし海パンっていう具体的な名を避けて、水着なんて抽象的で汎用的で中性的な呼び名になってきたってのは進化なのかね退化なのかね。逃げの姿勢ではないか。まあプールではくからといってプーパンってわけにもいかんだろうが。

海で泳いだもんだが。泳いだモンダガ。ダモンダガ。モンダガ、は危険だ。現在の風潮にそぐわない過去の私を暴露する言葉だ。モンダガを唱えるたび、いつの間にかカッコワリー世代になっている自分を発見する。孤独という勲章だ。なんてな。ちっと手を見る。

いやしかしそれって、駆け出しのころ、コピーをとることを「ゼロックス焼いてくれ」と言っていたあの係長をカッコワリーと見ていた自分の視線を浴びる番ってことだな。ティッシュをチリ紙と呼ぶに等しいな。メリケン粉。ピフテキ。

山手線を国電と言ってしまうオヤジを笑えなくなっているのだな。なんとしてもE電と呼ぶことだけは避けるぞ。テレビのチャンネルを回せ、と言ったら、チャンネルは回せない、ボタンを押すものだって言われたことがあるが、これもそうかい。

じゃ何ですか、もう電話はブルルルと鳴るものであって、電話がリンリン鳴るなんていうとアカッ恥なんですかい。一句。床の間のわき黒電話凜々と。黒光りするリンリンを持ち上げて仁王立ち、ドリアア、それが男の電話作法ってものじゃないですかい。昔は電話はリンリン鳴ってたモンダガ。

## でかい国アメリカでもPDAが大ハヤリ

ブルルル。どうにもケータイってやつはみみっちい。どうしても背中がちょいと曲がる。PDAもそうだ。ゲームボーイだってそうだ。サイフを開けて、五円玉と十円玉の間にひそむ一円玉をほじくり出そうとしているあの姿勢。池袋の路地裏でいやらしい穴をのぞこうとしてコートのえり立ててるあの姿勢。一連の、小物いじりのたたずまいだ。

そういえば20年前の冬、学生のころ、京都の場末、自販機に「節分豆いじり」というエロ本があって、そのネーミングのあまりの見事さについてむさぼり買った。いまだにこれを超えるネーミングに出会ったことがない。自身、これを超えるネーミングができれば、ネーミング界から足を洗う。ネーミング界に身を置いたことはないが。

2年ほど前にアメリカに降り立ったとき、薄型のノートPCを持参した。アメリカでもノートを持ち歩く人は多かったが、薄型は見当たらず、みな3キロはあるガッチリしたタイプをひょいと抱えていた。男らしいなあ鍛えてるなあと感心したが、女性でひょいひょいタイプも多く、アメリカの女らしいなあ鍛えてるなあと感心した。ぼくは貧弱な坊やだなあと思った。いまはもうアメリカもみな薄いのやPDAをいじって喜んでおる。

ドーンとでかく行こうや。というのはアメリカ人は生来お好きなようで、よせばいいのにでかいディスプレイをさんざ電器屋に並べて、デジタルテレビは男っぽく散らうとしている。みなで人間魚雷に乗り組んだかのように。美学やのう。

## 次なる対米輸出品は、テレビのフォーマットなり

話を元に戻しますとですね、オヤジの復権がテーマなんですよ、世界的に。オヤジというか、父親ね。TBSの「[しあわせ家族計画](#)」という番組、オヤジにけん玉だのローラースケートだのクリアすべき課題を与え、家族の力で克服していくというものだが、その番組ノウハウが30カ国のテレビ局に売れたんですと。オヤジがんばれ、ってテーマに世界の茶の間が手に汗にぎる21世紀なのだな。

それはそうと最近、テレビ界ではフォーマット販売というのが商売になっているそうだ。番組そのものを輸出するんじゃなくて、番組の作り方、セリフ回しなどノウハウをそっくりそのままパッケージとして売って、買った局はそれをもとに自国アレンジの番組にしつらえるんだそう。どうりで近頃アメリカでも、これって日本のテレビのパクリじゃないのと思わせる番組が多くなった。傾向としてはいいよね。こちらでカプリオ様はいなくても、彼にしゃべらすセリフぐらいは書けるからな。

さいごに男らしい話をするからよく聞け。東京に寄った際に寝泊まりする部屋の隣が有名な進学校だ。今日は体育祭で、にぎやかだ。私はこの原稿を書いている。マイクの声が部屋にガンガン入る。高校生が秋晴れのもと肉体を誇示している。無事終了となり、運動場で、校長がなにやら訓辞をたれた後、朝からずっと間の抜けた進行をしていた女の子の声がした、それでわあ、さいごにい、えーとお、生徒会長のお、あいさつう?、てゆーかあ、おねがいしまーす。

マイクがハウリングして、しばらく間があって、生徒会長とやらの声がした。声、というより、絶叫だった。その日いちにち全てをその瞬間に凝縮した、綱引きに勝ったことリレーに負けたこと母さんが作ってくれたお弁当のこと全てを総括した、血の叫び。青春の全てを賭けたと思える、底から絞り出した音だった。彼は、たったひとこと、こう言った。「家ニイ! 着くまで! ガア! 体育祭! ダアー!」

生徒全員の大喝采があがった。私はあまりのカッコよさに感動してイスから転げ落ちていた。ニッポン男児も捨てたもんじゃない。そう思った。

## 中村伊知哉 プロフィール



マサチューセッツ工科大学 客員教授  
'61年生、京都市出身。京都大学経済学部卒。

在学中はロックバンド“少年ナイフ”のディレクターで活躍。  
'84年、郵政省入省。'93年からパリに駐在し、'95年に帰国後は郵政大臣官房総務課課長補佐を務める。'98年、郵政省を退官し、(株)CSK特別顧問に就任。同年、マサチューセッツ工科大学 客員教授に就任。

著書に『インターネット,自由を我等に』(アスキー出版局)などがある。趣味は、ずばり“メディア”。

ホームページ:<http://www.media.mit.edu/ ichiya/jpn.htm>

- ▶[ある一ヶ月間のドタバタ日記\(12月28日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column/2000/10/04/618446-000.html)  
(<http://www.upsidejapan.com/upside/column/2000/10/04/618446-000.html>)
- ▶[かぞえ直しが続くあいだに\(11月28日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column/2000/11/28/618446-000.html)  
(<http://www.upsidejapan.com/upside/column/2000/11/28/618446-000.html>)
- ▶[オレの声が聞こえたか高橋\(10月25日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column/2000/10/25/618446-000.html)  
(<http://www.upsidejapan.com/upside/column/2000/10/25/618446-000.html>)
- ▶[Re率となんじゃこりゃ度\(9月25日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column/2000/09/25/618446-000.html)  
(<http://www.upsidejapan.com/upside/column/2000/09/25/618446-000.html>)

[\(<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

▶ [中村伊知哉@LANTIC【連載リスト】](#)  
(<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

(中村伊知哉)

！ [ASCII24](#) ！ [ASCII24 Business Center](#) ！ [日刊アスキー Linux](#) ！ [アスキーデジタル用語辞典](#) ！  
！ [auto-ASCII24](#) ！ [Shes.net](#) ！ [ASCII Job Serve.](#) ！ [アスキートップ](#) ！

！ [個人情報の取扱について](#) ！ [編集部へのコンタクト\(info@upsidejapan.com\)](#) ！ [広告掲載のご案内](#) ！

Copyright (C)1993-2000 Upside Media Inc.  
Copyright (C)2000 ASCII Corporation.  
All rights reserved.